

2026年2月4日

株式会社エフピコ

エフピコ・万代 「エコ製品」の積極的な使用で 「ストアtoストア」の協働を強化

～2027年2月期にCO2排出削減「年間2,400t」を目標～

株式会社エフピコ（代表取締役会長：佐藤 守正、以下「エフピコ」）と株式会社万代（代表取締役社長：阿部 秀行、以下「万代」）は、関西エリア170店舗（2026年1月末時点）を対象に、店頭で回収された使用済み食品トレーを新たな食品トレーに生まれ変わらせ、再び店頭で「エコ製品」※1を積極的に使用する「ストアtoストア」の水平リサイクル※2の取り組みを強化いたします。



●ストアtoストアの流れ



●本取り組みについて

エフピコと万代は、『お店がその地域のエコリーダー』となることを目指し、地域の皆さまに使用済み食品トレーを万代店舗にお持ちいただき、店頭で設置している回収ボックスにて回収を実施しております。回収した使用済み食品トレーを、エフピコがエコ製品へと生まれ変わらせ、このエコ製品を再び万代の売り場で使用することで、お店を発着点とする「ストアtoストア」の水平リサイクルを実現しております。

万代では、2025年2月期において使用済み食品トレーを483t回収し、回収資源から再生されたエコ製品を売り場で使用することによって、2,176tのCO2排出量を抑制いたしました。

2026年2月期においては、使用済み食品トレーを約500t回収し、回収資源から再生されたエコ製品を売り場で使用することによって、約2,300tのCO2排出量を抑制できる見込みです。※3

この度の協働体制強化に伴い、万代はエコ製品をさらに積極的に使用することで、2027年2月期において、『年間2,400t』のCO2排出量抑制を目標に取り組みを行ってまいります。

また、万代は地域のお客様のリサイクルへの参加を促すため、店頭でのリサイクル啓発ポスターや、ホームページ内での情報発信など積極的なPR活動を行い、使用済み食品トレーの回収量増加を図ります。



リサイクル啓発ポスター

※1 回収された資源を原料とする「エコトレー」、「エコAPET」、「エコOPET」

※2 リサイクルの前線で用途を変えずに資源を循環させるリサイクル方法

※3 2026年2月期のCO2排出量抑制数値は、2025年2月期の実績を元に見込みとして算出

【ご参考】

<株式会社エフピコ>

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使用される簡易食品容器を製造販売する国内最大手メーカーです。エフピコ方式のリサイクル「トレーtoトレー」「ボトルto透明容器」による地上資源の循環、及びCO2排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。

所在地:〒163-6036 東京都新宿区西新宿6丁目8番1号新宿オークタワー36階

代表者:代表取締役会長 佐藤 守正／代表取締役社長 安田 和之

設立:1962年7月

H P:<https://www.fpc.jp/>

<株式会社万代>

関西を中心に170店舗を展開する食品を主体としたスーパーマーケットチェーンです。万代は日本一買い物に行きたい店舗を目指して、お客様の「満足」と「感動」を獲得するために改革と進化に努め、全社員、全スタッフが一丸となって豊かで楽しい「食生活」「暮らし」の創造と提案を繰り返してまいります。

所在地:〒577-8543 大阪府東大阪市渋川町3丁目9番25号

代表者:代表取締役社長 阿部 秀行

設 立:1962年5月

H P:<https://www.mandai-net.co.jp/>

以 上

【本リリースに対するお問い合わせ先】

■株式会社エフピコ リサイクル推進部 TEL:03-5325-7559 FAX:03-5325-7767